

大葉の通年栽培・出荷により、外国人材の通年雇用を実現

【取組の経緯】

- ・平成18年、二代目として就農。
- ・規模拡大を行っていく過程で、労働力確保のため平成19年から外国人材の雇用を開始。
- ・外国人材の通年雇用を実現するため、大葉の通年栽培、通年出荷に取り組む。

【取組の概要】

- ・作付面積(ハウス)については、大葉160a、サンチュ80a。
- ・年間を通した栽培、出荷のため冬場等の日照不足対策として補光ランプを設置し通年栽培が可能。
- ・大葉栽培については、GLOBAL G.A.P.、JGAPを取得。
- ・販売については、年間を通した契約販売を実施。
 - * 主にイオン(減の恵み)、コンビニ向けに販売。
- ・大葉の選別作業に関しては、自動選別機5台を設置し、作業の効率化を図っている。
- ・正社員50名のうち技能実習生22名、特定技能5名を雇用しており、特定技能2名については、自動車免許を取得させ、技能実習生の送迎を実施。
- ・外国人材の住居については、自社所有宿舍及び民間賃貸を利用。
- ・労働環境改善のため、男女別トイレやハウス近くに休憩室を設置。

【今後の事業展開】

- ・現在、規模拡大は考えていないが、大葉生産農家2戸とサンチュ生産農家2戸を協力農家として、共同出荷を開始。
- ・作業のスマート化を進め、誰でも働ける職場(農業)づくりに取り組むこととしている。



代表取締役の野中さん



ハウス内の大葉



自動選別機による作業